

美術の授業について

1 美術は実技教科

- ・提出期限を守って、最後まであきらめず作品を完成させる事が大切です！
- ・授業で習ったことを生かしながら、独自の発想や個性を豊かに、表現することが大切です！

2 美術は4つの観点で評価

○ 美術への関心・意欲・態度

- ・準備物や課題がきちんとできている。
- ・授業中は表現や観賞の活動に一生懸命取り組んでいる。

○ 発想や構想の能力

- ・独自の発想や工夫して豊かに発想している。
- ・手順や作業時間を考えて、計画的に作業を進めることができる。

○ 創造的な技能

- ・正しく、安全に用具を使い表現ができている。
- ・丁寧に制作し、美しく作品を完成させることができる。

○ 鑑賞の能力

- ・自分なりの見方で、作品を味わうことができる。
- ・学習内容がきちんと理解できている。

3 美術の授業の準備物

※常に準備するもの

1年生（5点セット）

- ☐ 教科書1 ☐ 標準美術Ⅰ ☐ クロッキー帳（3年間使用）
- ☐ B以上の鉛筆 ☐ A4袋ファイル

2・3年生（7点セット）

- ☐ 教科書2・3上・下 ☐ 標準美術Ⅰ・Ⅱ ☐ クロッキー帳（3年間使用）
- ☐ B以上の鉛筆 ☐ A4袋ファイル（3年間使用）

※上記以外に各課題に合わせて、各自が材料や用具を工夫して準備しよう。

4 美術科 楽しい授業にするために10の約束

- ① 忘れ物をしないこと。前日に確認をしよう。
- ② 美術は心を磨き、創造力（想像力）を高めるための教科と、こころえよう。
- ③ 忘れ物をしないよう、すみやかに美術室へ早く移動し、静かに授業準備を行い、チャイム3分前には必ず席に着いておこう。
- ④ 1時間1時間を充実させるために、自分の制作計画をしっかりと立て、集中してアイデアを練ったり、制作したりしよう。
- ⑤ 自分の作品を大切に思う気持ちで、良い作品を生む。精一杯のがんばりとアイデアと粘りで、心と頭と体をしっかり使って、作品に取り組もう。
- ⑥ 教科書、友達や先輩の作品、有名人の作品に学ぼう。
- ⑦ 授業ではいろいろな道具を使います。特に安全面に注意し、落ち着いた心でまじめに使用しよう。
- ⑧ 美術室は常に美しく！ゴミや汚れの後始末。用具の確実な返却。また、机、椅子、備品、用具、掲示作品などを絶対に傷めないようにしよう。
- ⑨ 作品は、技術的なうまい、へただけが問題ではありません。線一本、色一つにも制作者の心が表れます。作品には、自分の真剣さ、まじめさ、素直な心が現れます。一生懸命取り組むことで、魅力的な大切にしたい作品が生まれます。
- ⑩ 注意を受ける生徒が一人でもいると授業のムードがこわれます。クラスのムードを良くし、一人一人がクラスの一員であるという自覚と責任をもって、お互いが高めあえる、充実した授業にしよう。

美しいものを美しいと思えるあなたの心が美しい